C23
ドメイン名の登録や維持管理に潜むリスクと考えておくべきこと

2025年7月3日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部　是枝 祐

一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

インターネット上での活動に欠かせないドメイン名

昔から重要だったが、インターネットの発展にともなってドメイン名の重要性はますます増加している

新しく会社を作る前にドメイン名を決めるのは当たり前だし、Webサイトが止まったりメールが受け取れないなどということはあってはならないこと

…と、頭では理解しているはずですが、実際にそれに見合った取り扱いができているでしょうか？

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

ドメイン名の扱いって軽くありませんか？

インターネット社会においては、ドメイン名は社名や商標と同じぐらい重要なもののはず

でも、社名や商標と同じように扱われていない気が。。

登録　社名を決める際「これしかない！」ってぐらい考えますよね？

維持　商標とか勝手に登録したり社内でバラバラに管理したりします？

廃止　長年使った社名や商標。簡単に捨てちゃいますか？

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

よくある好ましくない例

登録

長期的に使いにくい文字列でドメイン名を登録する
部署単位に勝手に登録する
毎回バラバラのレジストラ／リセラで登録している

維持管理

登録維持のための予算を確保していない
担当者アドレスが個人のものになっている＆引き継ぎをしない
レジストラ／リセラからのメールをきちんと読まない

廃止

(意図して／意図せず)準備のない唐突な廃止
廃止した後は気にせず放置

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

なくすと大変、でも失った後ではできることは限られる

うっかり失効の場合

登録を回復してくれる救済制度を利用する
→ 期間が限られる＆救済の仕組みがないTLDも多い

再登録が可能になるのを待ってチャレンジ
→ 成功率が限りなく低い

第三者にドロップキャッチされた場合

交渉

裁判
→ お金と時間がかかる

ドメイン名紛争処理方針(DRP)に基づく申し立て
→ 対象となるケースが限定される
https://www.nic.ad.jp/ja/drp/

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

具体的な事例1：2023年9月の「ドコモ口座事件」

NTTドコモが2021年まで利用していた「docomokouza.jp」がGMOインターネットの「お名前ドットコム」内の「.jpドメインオークション」で出品されるという事件が発生

同社にはサービス終了後も登録を維持する対象とするドメイン名のリストがあったが、そのリストから漏れていたケアレスミスが原因

オークションは402万円で終了し、その後NTTドコモから当該ドメイン名は同社の管理下に戻ったという発表があった

「お名前.com」では、ユーザーが登録を更新せず、また登録回復期間内に手続きを行わなかった場合は、ドメイン名を同社を含む他者に移管できることになっていた

お名前.comドメイン登録規約(第17条 9項)
登録者が，更新猶予期間内（復旧猶予期間が設定されている種類のドメイン名については、復旧猶予期間内）に登録更新手続を完了しなかった場合，当該ドメイン名の登録は，登録期間の終了日時にさかのぼって廃止したものとみなし，当社は当社の裁量によりそのドメイン名を削除し，または当社を含む他の登録者に移転することができるものとします。また，登録者が，更新猶予期間または復旧猶予期間内に，契約更新または登録復旧の申込を行った場合で，現に契約更新または登録復旧がなされた場合は，登録期限日に契約更新が行われたものとみなします。

Copyright © 2024 Japan Network Information Center

具体的な事例2:「aist-nara.ac.jp」事件 (2024年10月)

元々の登録者は奈良先端科学技術大学院大学

2023年12月に「naist.ac.jp」への変更に伴い表題のドメイン名は廃止

2024年8月に第三者により登録され10月頃にXで話題になったが、3週間ほどでJPRSにより削除された

```
Domain Information: [ドメイン情報]
a. [ドメイン名]                    AIST-NARA.AC.JP
e. [そしきめい]                    かいがいえふえっくすさいせんたんけんきゅうだいがく
f. [組織名]                        海外FX最先端研究大学
g. [Organization]                  kaigaifxsaisentankenkyudaigaku
k. [組織種別]                      各種学校
l. [Organization Type]             school in the miscellaneous category
m. [登録担当者]                    RH22421JP
n. [技術連絡担当者]                RH22422JP
p. [ネームサーバ]
s. [署名鍵]
[状態]                             Registered (2025/08/31)
[登録年月日]                       2024/08/09
[接続年月日]
[最終更新]                         2024/08/09 10:37:03 (JST)
```

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

廃止→ドロップキャッチの騒ぎが繰り返される理由

価値のあるドメイン名の廃止

ドメイン名を長期的に利用するという意識の欠如
うっかり失効などの管理ミス
廃止されたドメイン名は再利用されるという認識の不足

ドロップキャッチする側の心理

実績があるドメイン名が持つ金銭的価値
ドメイン名の先願主義の原則
登録時に事前の審査がほぼない

そもそも論

ドロップキャッチ自体は禁止されていない
ドメイン名オークション自体も同様

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

そもそもそのドメイン名、本当に必要でしょうか？

ドメイン名はブランディングに有効だから新しいのが欲しい！
でも数が増えると管理コストは増大するし、ミスの確率も増えますよ

ドメイン名は欲しいけど、管理するのは面倒だ！
今あるドメイン名じゃダメですか？ 勢いで登録しようとしてません？

使わなくなっても登録し続けるつもりだから大丈夫！
お金もかかりますし、乗っ取りはドロップキャッチだけじゃありません

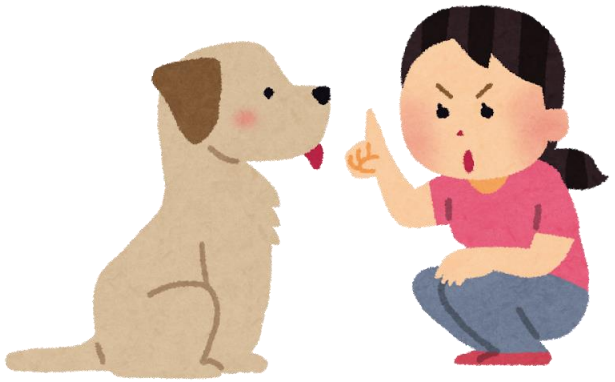
あとで「こんなはずじゃなかった…」となるのはイヤですよね？
勢いで登録する前にもう一度よく考えることが大事です

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

それでも登録する覚悟ができたら

ペットと同じで最後まで覚悟を持って付き合う

ただし、良くも悪くもペットと違ってドメイン名に寿命はありません



ちゃんとお世話をすることも必要

更新や連絡先の最新化、認証情報の管理などやることは
たくさんあります

看取りも大事です

ただし、お葬式などと違ってどうすればいいのかまだ正解はありません

軽い気持ちでの登録がよくないのであって、きちんとそのドメイン名の必要性を手間やリスクも踏まえて判断することが重要

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

廃止→ドロップキャッチの騒ぎが繰り返される理由

価値のあるドメイン名の廃止

ドメイン名を長期的に利用するという意識の欠如
うっかり失効などの管理ミス
廃止されたドメイン名は再利用されるという認識の不足

ドロップキャッチする側の心理

実績があるドメイン名が持つ金銭的価値
ドメイン名の先願主義の原則
登録時に事前の審査がほぼない

そもそも論

ドロップキャッチ自体は禁止されていない
ドメイン名オークション自体も同様

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

トラブルを未然に防ぐ/対応するための参考情報

Internet Week 2024 DNS Day資料

https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/2024/proceedings/d2/

JPNIC Newsletter 85号 インターネット10分講座

「ドメイン名を巡るトラブルを回避するために ～ドメイン名のライフサイクルマネジメント～」

https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No85/0800.html

ドメイン名紛争処理方針(DRP)

https://www.nic.ad.jp/ja/drp/

JP-DRP裁定検索システム … ドロップキャッチなど具体的な紛争事例を検索できます

https://jpdrp-db.nic.ad.jp/

Copyright © 2025 Japan Network Information Center